

2021年10月5日
ユーシービージャパン株式会社

「乾癬治療 - 変わろう私 プロジェクト」 第2弾として「明日の乾癬」ウェブサイトリニューアル アプリに新機能追加

2021年9月30日ウェブ公開 乾癬患者さんの肥満解消を支援するコンテンツを充実

ユーシービージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：菊池 加奈子、以下「ユーシービージャパン」）は、10月29日の“世界乾癬デー”を前に立ち上げた、乾癬患者さんのよりよい治療体験を応援するプロジェクト「乾癬治療 - 変わろう私 プロジェクト」の第2弾として、乾癬患者さん向けウェブサイト「明日の乾癬」をリニューアルし、「乾癬 x 肥満」ページを新設しました。また、治療を支えるアプリ「明日の乾癬 ソライアシスノート」には患者さんの肥満解消・予防を支援する機能を10月中旬に追加予定です。

主なリニューアル箇所は以下のとおりです。

■「明日の乾癬」ウェブサイト

「乾癬 x 肥満」ページの新設

乾癬と肥満の関係についての最新情報をお伝えし、肥満の解消や予防の重要性を理解していただき、エクササイズ等を継続して行っていただけるよう支援するコンテンツを充実させました。「知る」「始める」「続ける」と段階別に患者さんが必要なコンテンツにアクセスしやすい工夫をしています。



スタートページのデザイン変更

「乾癬 x 肥満」を今注目していただきたいトピックとして際立たせるため、視認性の高いビジュアルにリニューアルしました。

専門医による患者さん向け解説動画の公開

二人の専門医による患者さん向けのよくわかる解説動画を3本「知る」のページに公開しました。

- 「乾癬と肥満メタボリックシンドロームとの関係」
(東海大学医学部専門診療学系 皮膚科学 馬淵智生教授)
- 「知っているようで知らない？肥満のこと」
(琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 益崎裕章教授)
- 「肥満改善に運動が必要な本当の理由」
(琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 益崎裕章教授)

■「明日の乾癬 ソライアシスノート」アプリ



肥満解消・予防を支援する機能を追加

これまでの薬の投与や症状を記録する機能に加え、肥満の解消や予防のためのエクササイズサポート機能が追加されます。

主な新機能は以下の通りです：

- 3種類の強度別エクササイズコースが選択できます。各エクササイズを自由に組み合わせてカスタマイズコースを設定することもできます。
- 実施時間を設定し、アラーム機能でエクササイズの習慣化が図れます。
- 目標体重を設定し、現在の体重との差異がひと目でわかるように表示されます。
- 体重を入力するとBMIが自動計算されます。
- エクササイズによる消費カロリーは記録され、体重とともにグラフで可視化されることで目標達成が容易になります。
- 各エクササイズの動画を見ることができます。

■「乾癬治療 - 変わろう私 プロジェクト」について

「乾癬治療 - 変わろう私 プロジェクト」は、乾癬治療薬を開発・提供するユーシービージャパンが、乾癬と肥満の関係に着目し、肥満の解消や予防が乾癬治療の上で大変重要であるということを乾癬患者さんに広くお伝えしたいとの思いから発足しました。

また、このプロジェクトを通して、患者さんには楽しみながら継続的に肥満の解消と予防に取り組んでいただくことで、症状改善・治療効果向上につながることを期待しています。プロジェクト名の“変わろう私”には、乾癬患者さんに知識を得ることで意識を変えて、行動変容につなげていただきたいという想いと、なりたい自分になってもらいたいという願いが込められています。

ユーシービージャパンでは、乾癬患者さんの治療によりそのため、今後も様々な取り組みを実施予定です。「乾癬治療 - 変わろう私 プロジェクト」の第3弾もご期待ください。

▼第1弾：乾癬スペシャルエクササイズ

- ・公開日：2021年9月3日（金）
- ・公開URL：https://www.youtube.com/channel/UC_RBnoC5P7oo-wLL82-FnrA
- ・総監修：大槻 マミ太郎先生（自治医科大学 副学長/皮膚科学講座 教授）
- ・監修：今福 信一 先生（福岡大学医学部 皮膚科学教室 教授）
岸本 暢将 先生（杏林大学医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科 准教授）
多田 弥生 先生（帝京大学医学部 皮膚科学講座 教授）
益崎 裕章 先生（琉球大学 大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病 内科学講座（第二内科） 教授）
馬淵 智生 先生（東海大学医学部専門診療学系 皮膚科学 教授）
- ・開発協力：株式会社ティップネス



プロジェクトシンボル

「乾癬×肥満ディスコネクション」

▼第2弾：「明日の乾癬」ウェブサイトリニューアル、アプリ新機能追加*

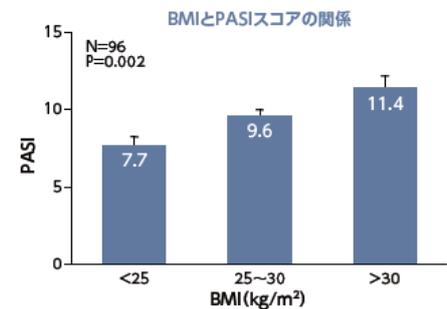
- ・公開日：2021年9月30日（木）*アプリの新機能追加は10月中を予定
- ・公開URL：<https://www.ashitano-kansen.jp/>
- ・明日の乾癬 ソライアシス・ノート（アプリ）：App Store および Google Play からダウンロード可能

■乾癬について

乾癬とは、未だに根治療法が見つかっていない、慢性の皮膚疾患（自己免疫疾患）です。日本の乾癬患者は約40万人程度で、好発年齢は思春期以降から50歳代であるなど、幅広い年齢で発症し、近年増加傾向にあります※1。こうした状況下で、最近では肥満やメタボリックシンドロームを合併する乾癬患者さんは、症状が悪化しやすく、心臓病などのリスクが高くなることが判明。症状改善のため、そして命に関わる病気に繋がらないようにするためには乾癬の治療とともに、肥満改善にも努めることが重要であることがわかってきました。

●乾癬と肥満の関係

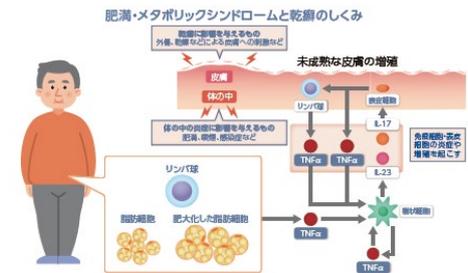
乾癬と肥満の関係を調べた研究が多く報告されています。「BMI」と皮疹の重症度をあわせて「PASI スコア」との関係を見ると、BMIが高い肥満の患者さんほど、皮疹の重症度が高いことがわかります（右図）※2。一方で、肥満を合併する乾癬患者さんに対して食事・運動療法を実施したところ、体重の減少に伴い乾癬の皮膚症状が軽減したという報告があります※3。つまり、肥満は、乾癬の皮膚症状を悪化させる要因のひとつであり、肥満の改善は皮膚症状の改善につながります。



【対象】2008年10月～2011年7月の間に光線療法または光化学療法を開始する前の18歳以上の乾癬患者 103例
 【方法】BMI、腹部肥満、インスリン抵抗性が乾癬の重症度及び10年以内の虚血性心疾患の発症に及ぼす影響について調査した。
 Tobin AM, et al. Br J Dermatol. 2014; 171 (2): 436-438. © John Wiley and Sons

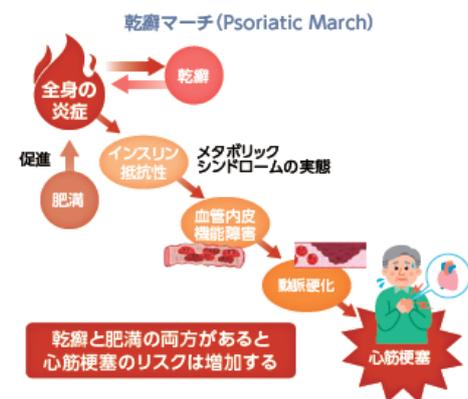
●肥満が乾癬に影響を及ぼすしくみ

乾癬では、TNFα やインターロイキン-17 (IL-17)、インターロイキン-23 (IL-23) といった複数のサイトカインが過剰につくられることで不必要な炎症が発生します。その炎症により皮膚表面の表皮細胞が過剰に増え、皮疹などの症状となってあらわれます。肥満やメタボリックシンドロームの患者さんでは、肥大化した脂肪細胞が内臓脂肪として蓄積していきます。その蓄積した内臓脂肪から TNFα などの炎症を誘発するサイトカインが分泌され、その炎症性物質が全身に影響し、乾癬の症状を悪化させる要因となると考えられています。



●乾癬マーチ

肥満やメタボリックシンドロームが心筋梗塞や脳卒中などの病気のリスクとなることはよく知られていますが、実は、中等症から重症の乾癬症状の遷延もそのような血管障害などを引き起こすリスクとなるといわれています。乾癬に肥満を合併すると、より慢性的な全身炎症が起こっている状態となります。この影響により、血糖を下げるインスリンが十分にはたらかなくなり、メタボリックシンドロームを引き起こします。さらに、血糖値の高い状態が続くと血管の機能が障害され、動脈硬化をきたし、心筋梗塞などのリスクが増加します。肥満が乾癬の悪化要因ということだけではなく、乾癬による皮膚や関節などでの炎症と内臓脂肪の肥大化に伴う炎症の両方が相まって続くことで引き起こされる、さまざまな負の連鎖の現象は「乾癬マーチ」と呼ばれています。



Boehncke WH, et al. Exp Dermatol. 2011; 20(4): 303-307.

■UCB(ユーシービー)について

UCB (<https://www.ucb.com/>) は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバルバイオフーマで、ニューロロジーや免疫・炎症領域の疾患と共に生きる患者さんのより良い生活の実現を目指して、革新的な医薬品の研究開発ならびにソリューションの提供に力を注いでいます。世界 36 か国に拠点を置き、従業員数は約 8,300 名を擁しており、2020 年の収益は 53 億ユーロ（約 6,510 億円）でした。UCB はユーロネクスト・ブリュッセル証券市場に上場しています（シンボル：UCB）。

ユーシービージャパン株式会社 (<https://www.ucbjapan.com/>) は UCB の日本法人として 1988 年に設立され、抗てんかん薬「イーケプラ[®]」、「ビムパット[®]」、関節リウマチ治療薬および乾癬治療薬「シムジア[®]」を中心に事業を展開しています。これからも、患者さんの価値を創造するバイオフーマリーダーとして、従来の治療で十分な改善が得られなかった患者さんに新たな治療の選択肢を提供することを目指して、日本の医療・健康へ更に貢献することを使命として参ります。

参考文献

- ※1：明日の乾癬ホームページ (<https://www.ashitano-kansen.jp/>)
- ※2：Tobin AM, et al. Br J Dermatol. 2014; 171 (2) : 436-438.
- ※3：Naldi et al. Br J Dermatol. 2014; 170 (3) : 634-42.

この件に関するお問い合わせは、以下にお願いします。
ユーシービージャパン株式会社 広報

[TEL:03-6864-7650](tel:03-6864-7650)